

ソニー・太陽(株) インクルージョン・ワークショップ

開催日：2013年11月30日

開催地：鹿児島アリーナ（鹿児島県鹿児島市）

主催：ソニー・太陽株式会社／後援：公益財団法人ソニー教育財団

参加者：鹿児島県内のお子様 15名 保護者 16名

指導員：ソニー・太陽株式会社 7名



ソニー・太陽は、全社員の約67パーセントを障がいのある社員が占めるソニーの特例子会社でソニー圏国内唯一のマイクロホン基幹工場です。

❄️ 直接業務・間接業務問わず、各部署に障がいのある社員が在籍しており、それぞれの個性や能力をいかして活躍しております。

インクルージョン・ワークショップとは、障がいのあるなしに関係なく、ダイバーシティ&インクルージョン（一人ひとりの違いを個性として尊重し、相互に意見をぶつけ合い新しいものを生み出す力にすること）を体験することにより、一人ひとりの多様な個性に気づききっかけを学び、相互理解を深めてもらうというと同時にソニー・サイエンスプログラムの主旨でもある科学を学び、論理性、好奇心、創造力を育むことにつながるソニー・太陽の特色を生かしたプログラムです。

また、ものづくり教室の他に、会社見学会・交流会や講演会なども行っています。

今回は、鹿児島市役所より要請を受け、「ペットボトルと牛乳パックで作るヘッドホン」の製作に挑戦して頂きました。



かごしまITフェスタは産学官一体となって行われるイベントで、毎年約1万5千人が来場されます。

1. オープニング♪

2. 工作



今回最年少となるマレーシア出身の4歳と6歳のご兄弟が参加してくれました。
ペットボトルは小さいお子さんには固いので、ここはお父さんとお母さんに手伝ってもらいます。



高学年になると1人でもテキパキこなせます。





お父さんやお母さん、スタッフに
教えてもらいながら作業を進めています。



ドライヤーでペットボトルのフィルムを熱で収縮
させます。子どもたちも驚いていました。



アンケートで、もっとも難しい作業第 1 位となったホルマル線巻きです。みんな真剣でした。





ここで一回試し聞きです。今までの苦勞が報われる瞬間になります。全員無事に音が出ているようです。



牛乳パックでヘッドバンドを作ります。最後に毛糸やマジックやシールを使ってお気に入りのデコレーションに！



これで完成です！

3. 音のお勉強 (音ってなあに?)

4. 修了証授与



周波数による音の変化のお勉強です。聞こえたら手をあげて下さいね♪



みんな頑張ったので修了証授与

5. 記念撮影



参加者全員で記念撮影！科学に対して興味を持ってもらえたかな？

アンケートより抜粋

子どもたちから（複数回答あり）

- 1) どんなところが楽しかったですか？
 - 第1位 ヘッドホンの工作 7人
 - 第2位 デコレーション 6人
 - 第3位 周波数の講義 2人

- 2) 驚いたことはありましたか？
 - 第1位 身近なペットボトルと牛乳パックを使ってヘッドホンが出来た事 4人
 - 第2位 周波数の講義で僕には聞こえた音がお父さんやお母さんには聞こえなかった事 3人
 - 第2位 振動で音が出る事 3人

- 3) 何が一番難しかったですか？
 - 第1位 コイルを巻く事 10人
 - 第2位 ペットボトル切り 3人

保護者より

- ・とても楽しかったです。手づくりでこんな事が出来るなんて大人でも驚きました。
- ・物を作る作業を通して、小さい時から興味を持たせる重要性を学びました。
- ・のんびりした子どもでたくさんお手伝い下さいましてありがとうございました。
- ・子どもがとても楽しそうに作っていた。意外に丁寧に作業をしていたので驚きました。
- ・ペースやスタッフの皆さんのサポートなど、とても満足のいくものでした。

(ソニー・太陽株式会社)